

らくよう

楽しく 陽るく 荘全体で
お年寄りの人権を守ります。

その方らしい生活が出来るよう応援します。

最後までお世話させていただく準備が来ています。

特別養護老人ホーム楽陽荘 令和2年5月号 NO. 321



< 開園記念日 >

4月1日、楽陽荘は開園38周年を迎えました。毎年この日が来ると一年を振り返って反省をしながら新しい希望に胸弾ませて新年度の第一歩を踏み出しますが、今年は勝手が違いました。新型コロナウイルス感染症という目に見えない病気に悩まされています。

ご家族の皆様方にもご面会に制限を掛けさせていただいたり誠に申し訳ありませんが、今しばらくご辛抱をお願いいたします。

< 園内でお花見 >

感染予防のため外出は中止して淋しい思いをしておりました時、ご家族様が桜の枝を切って持って来てくれました。職員も花を持ち寄り、辛いニュースの多い中少しでも春を感じて頂こうと、園内で桜を囲みお花見を楽しみました。来年はもっと穏やかな気持ちでお花見がしたいものです。



< お楽しみ食 >

4月10日、月に1度のお楽しみご飯の日です。今回はバイキングにしました。春を感じてもらおう献立は桜の花のご飯と天ぷらの盛り合わせ（エビ、タケノコ、人参、さつまいも、かぼちゃ）と桜の花のお吸い物、菜の花のおひたしでした。自分の好きなものを選んで頂き、「私はタケノコの天ぷらが好き。」「私はエビの天ぷらが好きじゃ。」と楽しい会話が弾みました。大好きなご馳走とお酒も入ってたくさん食べて頂きました。



< 生け花ボランティア >

今月も感染予防のため生け花ボランティアが実施できないため、ボランティアの皆さんがたくさんのお花を届けてくださりバラのいい香りがして、園内はお花畑のようになり、お花に癒され心もほっこりしました。ボランティアさん本当にありがとうございました。



< 喫茶らくよう >

今月の喫茶は春らしいピンクのいちごロールと紅茶を用意しました。テーブルにロールケーキが出されると「可愛いらしいなあ、食べるんがもったいない。」「いちごのにおいがするなあ。」と、皆ロールケーキを見つめて小さな幸せを見つけたかの様に嬉しそうにほおばっていました。楽しい会話も弾み、食を通してほのぼのとした時間を過ごす事ができていました。



< 編集後記 >

新型コロナウイルスのため感染予防とはいえ、ご家族様には大変ご不便をおかけしております。私たち職員一人ひとりも感染予防のため公私において最大限の努力をしています。ご家族の皆様も十分にお気をつけてお過ごし下さい。早く新型コロナウイルスが落ち着くようにと念じています。 担当：西山ひ 藤原 河津